

整理番号	0201
単位数	2 単位

教科	地理歴史 科	科目	地理総合
学年	1 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	わたしたちの地理総合 改訂版（山川出版社） 基本地図帳 改訂版（山川出版社）
補助教材	わたしたちの地理総合 改訂版 ワークブック（山川出版社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 地図とGISの利用 1節 球面状の世界と地図の活用 2節 国家間の結びつき 2章 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>球体としての地球の基本的な仕組みを理解する。</li> <li>時差計算の技能を身に付ける。</li> <li>領有権の問題や海洋資源の利用について考える。</li> <li>統計地図やグラフの作り方を理解する。</li> <li>資料から読み取る技能を身に付ける。</li> <li>地形の形成とその広がりを理解する。</li> <li>地形と対応した人々の生活と取り巻く環境の変化について考える。</li> <li>気候の地域性をケッペンの気候区分で捉え、人々の生活文化との関わりを資料から考える。</li> </ul>	○	○	○
二学期	2節 多文化共生社会と生活文化 3節 産業の発展と生活文化 4節 グローバル化の進展と生活文化 3章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 居住・都市問題 4節 資源・エネルギー問題 5節 地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の発達と生活文化について理解する。</li> <li>宗教、言語の分布や人々の関わり、分布を示す要因について、資料を通じて理解する。</li> <li>多民族社会と地域統合について理解する。</li> <li>仏教、キリスト教、イスラム教の文化圏について考える。</li> <li>農業や鉱業などの産業の多様性について考える。</li> <li>人口問題の背景や問題を整理する。</li> <li>人口が集まる都市内部の構造を理解する。</li> <li>地球規模で起きる資源の問題を認識する。</li> <li>地球環境問題の影響と解決について考える。</li> </ul>	○	○	○
三学期	4章 生活圏の諸課題 1節 自然環境と防災 2節 持続可能な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島の地形と気候の特徴、自然災害について理解する。</li> <li>日本が抱える地域的な課題について、調査・分析・まとめの技能を身に付ける。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やグラフなどを活用し、多様な角度から地理的事象を捉えられるようにする。</li> <li>それぞれの地理的事項に関して、常に理由や原因を探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開 拓 精 神

整理番号	0202
単位数	2 単位

教科	地理歴史 科	科目	地理総合	単位数	2	単位
学年	1 学年	学科・コース等	機械電気科			

学習到達目標	
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	わたしたちの地理総合 改訂版（山川出版社） 基本地図帳 改訂版（山川出版社）
補助教材	わたしたちの地理総合 改訂版 ワークブック（山川出版社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	1章 地図とGISの利用 1節 球面状の世界と地図の活用 2節 国家間の結びつき 2章 生活文化の多様性と国際理解 1節 自然環境と生活文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>球体としての地球の基本的な仕組みを理解する。</li> <li>時差計算の技能を身に付ける。</li> <li>領有権の問題や海洋資源の利用について考える。</li> <li>統計地図やグラフの作り方を理解する。</li> <li>資料から読み取る技能を身に付ける。</li> <li>地形の形成とその広がりを理解する。</li> <li>地形と対応した人々の生活と取り巻く環境の変化について考える。</li> <li>気候の地域性をケッペンの気候区分で捉え、人々の生活文化との関わりを資料から考える。</li> </ul>	○	○	○
二学期	2節 多文化共生社会と生活文化 3節 産業の発展と生活文化 4節 グローバル化の進展と生活文化 3章 地球的課題と国際協力 1節 人口問題 2節 食料問題 3節 居住・都市問題 4節 資源・エネルギー問題 5節 地球環境問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業の発展と生活文化について理解する。</li> <li>宗教、言語の分布や人々の関わり、分布を示す要因について、資料を通じて理解する。</li> <li>多民族社会と地域統合について理解する。</li> <li>仏教、キリスト教、イスラム教の文化圏について考える。</li> <li>農業や鉱業などの産業の多様性について考える。</li> <li>人口問題の背景や問題を整理する。</li> <li>人口が集まる都市内部の構造を理解する。</li> <li>地球規模で起きる資源の問題を認識する。</li> <li>地球環境問題の影響と解決について考える。</li> </ul>	○	○	○
三学期	4章 生活圏の諸課題 1節 自然環境と防災 2節 持続可能な地域づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本列島の地形と気候の特徴、自然災害について理解する。</li> <li>日本が抱える地域的な課題について、調査・分析・まとめの技能を身に付ける。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>写真やグラフなどを活用し、多様な角度から地理的事象を捉えられるようにする。</li> <li>それぞれの地理的事項に関して、常に理由や原因を探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開 拓 精 神

整理番号	0203
単位数	2 単位

教科	地理歴史 科	科目	地理探究	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標	
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	地理探究（山川出版社） 基本地図帳（山川出版社）
補助教材	新詳地理資料COMPLETE2026（帝国書院） 地理探究ワークブック（山川出版社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	<p>地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p>	<p>地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。</p>	<p>地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。</p>
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確認テスト</li> <li>○ 定期考査</li> <li>○ 作図・読取課題</li> <li>○ 観察評価・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確認テスト</li> <li>○ 定期考査</li> <li>○ 作図・読取課題</li> <li>○ 観察評価・提出物</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確認テスト</li> <li>○ 定期考査</li> <li>○ 作図・読取課題</li> <li>○ 観察評価・提出物</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	<p>第Ⅰ編 現代世界の系統地理的考察</p> <p>1章 自然環境</p> <p>1 地形</p> <p>2 気候と生態系</p> <p>3 世界各地の自然と生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地形の分布や形成要因に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・地形図の読図に関する地理的技能を習得する。</li> <li>・地球規模でみた気温・降水量等に関する知識を習得する。</li> <li>・世界の気候区分の方法を理解する。</li> <li>・世界規模からみた植生・土壌の特色を理解する。</li> <li>・世界の気候帯の分布や形成要因に関する知識を習得する。</li> </ul>	○	○	○
二学期	<p>4 日本の自然環境と防災</p> <p>5 地球環境問題</p> <p>2章 資源と産業</p> <p>1 農林水産業</p> <p>2 資源・エネルギー</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の自然環境や自然災害について理解する。</li> <li>・環境問題に関する分布や形成要因を考察し基礎的知識を習得する。</li> <li>・世界の農業・林業・水産業に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・世界や日本の食料問題・課題について、世界的視野をもって、形成要因を考察する。</li> <li>・世界の資源・エネルギーに関する基礎的知識を習得する。</li> </ul>	○	○	○
三学期	<p>2 資源・エネルギー</p> <p>3 工業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世界や日本の資源・エネルギー問題について、世界的視野をもって、形成要因を考察する。</li> <li>・世界の工業の成り立ち・立地に関する知識を習得する。</li> <li>・グローバル化の中で世界と日本の工業に関して、世界的視野をもって、それらの動向・形成要因を考察する。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やグラフなどを活用し、多様な角度から地理的事象を捉えられるようにする。</li> <li>・それぞれの地理的事項に関して、常に理由や原因を探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開 拓 精 神

整理番号	0204
単位数	3 単位

教科	地理歴史 科	科目	地理探究
学年	3 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	地理探究（二宮書院） 基本地図帳（二宮書院）
補助教材	新詳地理資料COMPLETE2025（帝国書院） 地理探究ワークブック（二宮書院）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解し、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係などに着目して、多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多角的な考察を通して涵養される日本国民としての自覚、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物	○ 確認テスト ○ 定期考査 ○ 作図・読取課題 ○ 観察評価・提出物

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	2章 資源と産業 3章 人・モノ・金のつながり 4章 人口、村落・都市 5章 文化と国家 1章 地域区分 2章 現代世界の諸地域 1 中国 2 朝鮮半島	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第3次産業に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・世界の交通・情報通信の基礎的知識を習得する。</li> <li>・世界の貿易・観光の基礎的知識を習得する。</li> <li>・世界の人口に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・村落・都市に関する基礎的知識を習得する。</li> <li>・民族と国家の関連を理解し、基礎的知識を習得する。</li> <li>・中国と朝鮮半島の特色を理解する。</li> </ul>	○	○	○
二学期	3 東南アジア 4 南アジア 5 西アジア・中央アジア 6 北アフリカ・サブサハラアフリカ 7 ヨーロッパ 8 ロシア 9 アングロアメリカ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な民族が広がる東南アジアの特色を理解する。</li> <li>・巨大な人口をもつ南アジアの特色を理解する。</li> <li>・西アジアと中央アジアの特色を理解する。</li> <li>・北アフリカとサブサハラアフリカを比較しながら、特色を理解する。</li> <li>・ヨーロッパについて、地域統合に着目し、特色を理解する。</li> <li>・資源外交で世界に影響を与えるロシアの特色を理解する。</li> <li>・アングロアメリカの特色を理解する。</li> </ul>	○	○	○
三学期	10 ラテンアメリカ 11 オーストラリア 12 ニュージーランドと島嶼国	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラテンアメリカの特色を理解する。</li> <li>・オーストラリアの特色を理解する。</li> <li>・オセアニア諸国の特色を理解する。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>・写真やグラフなどを活用し、多様な角度から地理的事象を捉えられるようにする。</li> <li>・それぞれの地理的事項に関して、常に理由や原因を探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開 拓 精 神

整理番号	0205
単位数	2 単位

教科	地理歴史 科	科目	歴史総合
学年	1 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高等学校 改訂版 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と作業 改訂版 新歴史総合ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠状況</li> <li>学習態度</li> <li>学習状況の観察</li> <li>自己評価</li> <li>提出物の内容と提出状況</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	序章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち ・近代化への問い ・近代化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> <li>18世紀のアジアの経済と社会を理解し、産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目する。</li> <li>アジア諸国と欧米諸国との関係の変容、帝国主義がアジア・アフリカに与えた影響に着目して、その特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul>	○	○	○
二学期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・国際秩序の変化や大衆化への問い ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の外交などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。</li> <li>第二次世界大戦後の影響などに着目して、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。</li> </ul>	○	○	○
三学期	第3章 グローバル化と私たち ・グローバル化への問い ・現代的な諸課題の形成と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</li> <li>自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料（史料）を活用し、多様な角度から歴史的事象を捉えられるようにする。</li> <li>歴史的事項に関して、探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開拓精神

整理番号	0206
単位数	2 単位

教科	地理歴史 科	科目	歴史総合	単位数	2 単位
学年	3 学年	学科・コース等	機械電気科		

学習到達目標	
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追及したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高等学校 改訂版 新歴史総合 過去との対話、つなぐ未来（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と作業 改訂版 新歴史総合ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界と其中的の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追及、解決しようとする態度や、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを身に付けている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠状況</li> <li>学習態度</li> <li>学習状況の観察</li> <li>自己評価</li> <li>提出物の内容と提出状況</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	序章 歴史の扉 第1章 近代化と私たち ・近代化への問い ・近代化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>諸資料を活用し、課題を追及したり解決したりする活動に主体的に取り組む。</li> <li>18世紀のアジアの経済と社会を理解し、産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目する。</li> <li>アジア諸国と欧米諸国との関係の変容、帝国主義がアジア・アフリカに与えた影響に着目して、その特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> </ul>	○	○	○
二学期	第2章 国際秩序の変化や大衆化と私たち ・国際秩序の変化や大衆化への問い ・国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の外交などを基に、国際協調体制の動揺を理解する。</li> <li>第二次世界大戦後の影響などに着目して、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>現代的な諸課題の形成に関わる国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解する。</li> </ul>	○	○	○
三学期	第3章 グローバル化と私たち ・グローバル化への問い ・現代的な諸課題の形成と展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>冷戦、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。</li> <li>自ら主題を設定し、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解する。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料（史料）を活用し、多様な角度から歴史的事象を捉えられるようにする。</li> <li>歴史的事項に関して、探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開拓精神

教科	地理歴史 科	科目	日本史探究	単位数	2 単位
学年	2 学年	学科・コース等	普通科		

学習到達目標

社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。

使用教材

教科書	高校日本史（山川出版社）
補助教材	新詳日本史（浜島書店） 新日本史研究ノート 標準編（啓隆社）

目指す力と評価

	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠状況</li> <li>学習態度</li> <li>学習状況の観察</li> <li>自己評価</li> <li>提出物の内容と提出状況</li> </ul>

年間学習計画

学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第Ⅰ部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの	<ul style="list-style-type: none"> <li>旧石器文化から縄文文化の時代の人びとの暮らしを考察する。</li> <li>狩猟社会から農耕社会への変化に着目し、問いを表現する。</li> <li>古墳文化の特徴を前期・中期・後期のそれぞれについて考察する。</li> <li>推古朝の政治や外交について考察する。</li> <li>律令制が日本の歴史に与えた影響について理解する。</li> <li>奈良時代の政治の流れを理解し、その背景について考察する。</li> <li>律令制度の建て直しと、その後の政治制度の変質について考察する。</li> </ul>	○	○	○
	第2章 古墳とヤマト政権 第3章 律令国家の形成				
	第4章 貴族政治の展開				
二学期	第Ⅱ部 中世 第5章 院政と武士の進出 第6章 武家政権の成立	<ul style="list-style-type: none"> <li>藤原北家の勢力拡大や律令制支配の衰退と地方支配の仕組みの変質を考察する。</li> <li>寄進地系荘園の成立など土地制度の変化や武士団の成長を考察する。</li> <li>院政について、古代から中世への歴史の転換と関連づけて考察する。</li> <li>平氏が保元・平治の乱を通じて勢力を拡大し、政権を獲得した過程を考察する。</li> <li>鎌倉幕府の支配機構、将軍と御家人との主従関係、公武的二元支配構造などを理解する。</li> <li>モンゴル襲来の国際的な背景と幕府や朝廷の対応、その後の影響を理解する。</li> </ul>	○	○	○
	第7章 武家社会の成長				
三学期	第Ⅲ部 近世 第8章 近世の幕開け	<ul style="list-style-type: none"> <li>室町幕府の成立と体制を理解し、一揆による幕府の動揺や下剋上の風潮、日本の伝統文化の原型が形成された室町期の文化的な特色について考察する。</li> <li>戦国大名や都市、産業や流通の成長について考察する。</li> <li>大航海時代の展開に関連させて、中世から近世への時代の転換を理解し、織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一の過程を把握する。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ

- 資料（史料）を活用し、多様な角度から歴史的事象を捉えられるようにする。
- 歴史的事項に関して、探究する気持ちで授業に臨む。

開拓精神

整理番号	0208
単位数	3 単位

教科	地理歴史 科	科目	日本史探究
学年	3 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高校日本史（山川出版社）
補助教材	新詳日本史（浜島書店） 新日本史研究ノート 標準編（啓隆社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠状況</li> <li>学習態度</li> <li>学習状況の観察</li> <li>自己評価</li> <li>提出物の内容と提出状況</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第Ⅲ部 近世 第9章 幕藩体制の成立と展開 第10章 幕藩体制の動揺 第Ⅳ部 近代・現代 第11章 近世から近代へ	<ul style="list-style-type: none"> <li>幕藩体制の確立期の社会を多面的・多角的に考察する。</li> <li>江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察し、経済発展と町人文化が形成されたことを理解する。</li> <li>財政が悪化するなかで実施された諸改革とその影響を考察し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。</li> <li>開国から新政府の発足に至る過程を理解し、どのような国家が構想されたかを考察する。</li> </ul>	○	○	○
	第12章 近代国家の成立 第13章 近代国家の展開と国際関係 第14章 近代の産業と生活 第15章 恐慌と第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>日本の近代化の特徴について考察し、自由民権運動の展開や大日本帝国憲法制定の意義を、多角的に考察する。</li> <li>条約改正、日清・日露戦争、第一次世界大戦後の日本の国際的地位の変化と対外進出について、諸外国の動向と関連づけて考察する。</li> <li>資本主義国家の基礎確立の過程を、産業革命や近代産業の発展に着目して理解する。</li> <li>西洋文化と伝統的な文化が接触した近代文化、産業構造の変化や都市化による大衆文化の特色について考察する。</li> <li>戦争の長期化、国民生活の変化や諸統制に着目して、全体主義的な国家体制が進展していく経緯を考察する。</li> </ul>	○	○	○
三学期	第16章 現代の世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> <li>連合軍の日本占領政策が日本社会に与えた影響を考察する。</li> <li>高度経済成長政策の下で豊かになった反面、公害などの社会問題が発生したことや現代の諸課題について考察する。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>資料（史料）を活用し、多様な角度から歴史的事象を捉えられるようにする。</li> <li>歴史的事項に関して、探究する気持ちで授業に臨む。</li> </ul>

## 開拓精神

整理番号	0301
単位数	3 単位

教科	公民 科	科目	公共
学年	2 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高等学校 新公共（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と問題 新公共ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠状況</li> <li>学習態度</li> <li>学習状況の観察</li> <li>自己評価</li> <li>提出物の内容と提出状況</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1編 公共の扉	<ul style="list-style-type: none"> <li>社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。</li> <li>古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。</li> <li>古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。</li> </ul>	○	○	○
	第1章 公共的な空間をつくる私たち				
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方				
二学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。</li> <li>よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。</li> <li>公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られることについて理解する。</li> </ul>	○	○	○
	第1章 法的な主体となる私たち				
	第2章 政治的な主体となる私たち				
三学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	<ul style="list-style-type: none"> <li>市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。</li> <li>持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。</li> </ul>	○	○	○
	第3章 経済的な主体となる私たち				

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>単なる知識獲得だけでなく、自分で積極的に考え、主体的に授業に取り組むことが大切である。</li> <li>社会の一員としてどうあるべきか考えることを常に意識する。</li> </ul>

## 開拓精神

整理番号	0302
単位数	3 単位

教科	公民 科	科目	公共
学年	2 学年	学科・コース等	機械電気科

学習到達目標	
人間と社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。	
使用教材	
教科書	高等学校 新公共（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と問題 新公共ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論したりしている。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	・定期考査、単元テストの結果 ・学習状況の観察 ・提出物の内容 ・学習成果の発表内容	・定期考査、単元テストの結果 ・学習状況の観察 ・提出物の内容 ・学習成果の発表内容	・出欠状況 ・学習態度 ・学習状況の観察 ・自己評価 ・提出物の内容と提出状況

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1編 公共の扉	・社会に参画する自立した主体とは、孤立して生きるのではなく、地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的な空間を作る存在であることを学ぶ。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、社会に参画する際の選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論を理解する。 ・古今東西の先人の取り組み、知恵などを踏まえ、公共的な空間における基本的原理を理解する。	○	○	○
	第1章 公共的な空間をつくる私たち				
	第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方				
二学期	第2編 自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平・公正に調整し、個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解する。 ・よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解する。 ・公正かつ自由な経済活動をおこなうことを通して資源の効率的な配分が図られることについて理解する。	○	○	○
	第1章 法的な主体となる私たち				
	第2章 政治的な主体となる私たち				
三学期	第3編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち	・市場経済システムを機能させたり国民福祉の向上に寄与したりする役割を政府などが担っていること及びより活発な経済活動と個人の尊重を共に成り立たせることが必要であることについて理解する。 ・持続可能な地域、国家・社会及び国際社会づくりに向けた役割を担う、公共の精神をもった自立した主体となることに向けて、幸福、正義、公正などに着目して、現代の諸課題を探究する活動を行う。	○	○	○
	第3章 経済的な主体となる私たち				

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>単なる知識獲得だけでなく、自分で積極的に考え、主体的に授業に取り組むことが大切である。</li> <li>社会の一員としてどうあるべきか考えることを常に意識する。</li> </ul>

## 開拓精神

整理番号	0303
単位数	2 単位

教科	公民 科	科目	政治・経済
学年	3 学年	学科・コース等	普通科

学習到達目標	
<p>社会の在り方についての見方・考え方を働かせ、現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を身につける。</p>	
使用教材	
教科書	高等学校 政治・経済（第一学習社）
補助教材	学習事項の整理と問題 政治・経済ノート（第一学習社）

目指す力と評価			
	a. 知識および技能	b. 思考力・判断力・表現力	c. 主体的に学習する態度
評価の観点	社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて探究するための手掛かりとなる概念や理論などについて理解するとともに、諸資料から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	国家及び社会の形成者として必要な選択・判断の基準となる考え方や政治・経済に関する概念や理論などを活用して、現実社会に見られる複雑な課題を把握し、説明するとともに、身に付けた判断基準を根拠に構想する力や、構想したことの妥当性や効果、実現可能性などを指標にして議論し公正に判断している。	よりよい社会の実現を視野に、国家及び社会の担い手として、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期考査、単元テストの結果</li> <li>学習状況の観察</li> <li>提出物の内容</li> <li>学習成果の発表内容</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>出欠状況</li> <li>学習態度</li> <li>学習状況の観察</li> <li>自己評価</li> <li>提出物の内容と提出状況</li> </ul>

年間学習計画					
学期	単元	学習内容および到達目標	評価の観点		
			a	b	c
一学期	第1編 現代日本の政治・経済の諸課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>政治や政治権力の意味とその役割を理解し、よりよい民主政治のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>地方自治の本旨の意味と日本の地方自治制度を理解し、望ましい政治のあり方および主権者としての政治参加のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> <li>経済の役割と市場経済について理解し、市場の機能と限界や解決のあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> </ul>	○	○	○
	第1章 現代日本の政治・経済				
二学期	第2章 現代日本の諸課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>財政の機能としくみや金融をめぐる動向と課題を理解し、持続可能な財政のあり方や金融を通じた経済活動の活性化のしくみやあり方について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> <li>日本経済における産業構造の変化を理解し、経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとする。</li> <li>国際社会の多極化や国際協力、国際法の果たす役割を理解し、どのような制度が必要か、多面的・多角的に考察し、表現する。</li> <li>平和主義の理念を理解し、国際社会において日本がこれから果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現する。</li> </ul>	○	○	○
	第2編 グローバル化する国際社会の諸課題				
	第1章 現代の国際政治・経済				
三学期	第2章 国際社会の諸課題の探究	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較優位や国際分業の利点を理解し、国益と地球的な規模での協調が求められる現状と問題点について、多面的・多角的に考察、表現する。</li> <li>国際経済における日本の地位を理解し、国際経済の安定と成長のために果たすべき日本の役割について、考察、構想し、表現する。</li> <li>取り上げた課題について、よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決し、合意形成や社会参画に向かおうとする。</li> </ul>	○	○	○

担当者からのメッセージ
<ul style="list-style-type: none"> <li>単なる知識獲得だけでなく、自分で積極的に考え、主体的に授業に取り組むことが大切である。</li> <li>社会の一員としてどうあるべきか考えることを常に意識する。</li> </ul>

## 開拓精神